

令和3年度

年間指導計画（評価計画） 美術 2年

1 評価の観点及びその趣旨

観 点		趣 旨
①	知識・技能	・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
②	思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 年間指導計画

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法
4	学習内容と鑑賞	1 年間の学習内容とねらいについて 2 教科書の鑑賞	1	③	・自分なりの見方や感じ方を大切に、観察を深めることができる。	・教師の観察 ・忘れ物点検
5	デザイン・絵文字	1 レタリング演習 2 アイデアスケッチ 3 配色計画 4 下描き 5 彩色	4	③ ② ② ① ③	・表現方法を理解し基礎的技法を身に付け計画的・意欲的・主体的に表現できる。 ・文字の形や意味などから発想を自由に広げることができる。 ・材料や用具の生かし方を考え、効果的に使用し表現することができる。 ・参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。	・教師の観察 ・作品 ・忘れ物点検 ・ワークシート
5 6 7	木彫	1 彫り方道具の使い方 2 アイデアスケッチ 3 下書き 4 彫刻 5 着色 6 仕上げ（ニス）	10	③ ② ② ① ③	・表現方法を理解し基礎的技法を身に付け計画的・意欲的に表現できる。 ・発想を自由に広げることができる。 ・材料や用具の特性を生かして効果的に使用したり表現することができる。 ・正しく安全に道具を使うことができる ・参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。	・教師の観察 ・作品 ・忘れ物点検 ・ワークシート
	鑑賞	日本の美術①（仏像：奈良編）	2	③ ②	・感じ取ったことを話し合う活動に関心をもつことができる。 ・作品を見て感じ取ったことを話し合い見方を広げることができる。	・教師の観察 ・ワークシート ・忘れ物点検

月	単元	学習事項 (指導内容)	時数	観点	評価規準	評価方法
9	デザイン	1 アイデアスケッチ (リビテーション)	12	①	・表現方法を理解し、技法を身に付け計画的・意欲的に表現できる。 ・感じ取ったことを話し合う活動に関心をもつことができる。	・教師の観察 ・作品 ・忘れ物点検 ・ワークシート
10		2 配色計画		②	・イメージに合うデザインを考えることができる。 ・個性的・独創的なものの考え方、自分らしい造形感覚の生かし方で豊かに発想し構成できる。	
11		3 下描き 4 彩色		②	・材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわすことができる。	
		①	・参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。			
12	鑑賞	日本の美術② (仏像：奈良・京都編)	1	③	・感じ取ったことを積極的に話し合い関心をもつことができる。 ③ ・作品を見て感じ取ったことを話し合い見方を広げることができる。	・教師の観察 ・ワークシート ・忘れ物点検
1	工芸 へら押し彫金	1 アイデアスケッチ	4	③	・身近な工芸品などに関心をもち感性を働かせ、創造活動に主体的に関わることができる。	・教師の観察 ・作品 ・忘れ物点検 ・ワークシート
2		2 写し		②	・個性を生かした発想や構想ができる。 ・日本の伝統工芸の形や美意識を意識した発想ができる。	
3		3 へら押し		①	・材料や用具の特性を理解し生かし方を考え工夫して表現することができる。	
		4 いぶし加工		②	・用と美の調和や材料の特徴を生かした工芸のよさを味わうことができる。	
		5 やすりがけ				
		6 仕上げ				
3	鑑賞 美術史年表	美術史年表について (ルネサンス期) (仏像：奈良・京都編)	1	① ③	・日本と世界の美術史に興味をもって鑑賞することができる。 ・感じ取ったことを話し合う活動に関心をもつことができる。 ・日本の美術を中心に世界の美術の流れを知ることができる。 ・地域間の伝播や交流が美術に与えた影響を知ることができる。	・教師の観察 ・ワークシート ・忘れ物点検